

治療した部位と治療方法

1 問診診察結果 (白猫の縫いぐるみ 高さ 34cm)

- (1) 左側前足のひざ関節部品が折れて外れている。(図-1)
- (2) 左側前足の関節の連結部骨折状態 (図-2)
- (3) 左側の後ろ足の膝関節がネジ落下で外れている。座ることが出来ない。倒れる。(図-3)



図-1 左前足ひざ関節骨折



図-2 骨折の状態



図-3 左後足関節ネジ落下していた

2 治療の方法

(1) 左前足ひざ関節の治療

- 毛皮で被われているため、中の状態が分からないので、糸目の糸切りから始める。
- 図-2 は、肩側から 伸びたひざ関節の連結部で、完全に割れて離れている。



図-4



図-5



図-6

- 図-4 は、連結部の外側で溝がついている。図-5 は図-4 の内側でスプリングが入っている。
- 図-6 は、図-2 の割れて離れている部分を、ボンドで仮止めしたところである。



図-7-1

- 仮止めと言っても、セメダイン3000RXF ハイスピード強力型プラスチック用を使用したので、丈夫そうであったが、用心のため図-7のピンク色のプラを溝の深さとほぼ同じ厚さと幅にして、折れていた箇所を中心に強力ボンドで貼り付け補強したところ。



図-7-2

- 図-8 は、図-7 を内側から見たところである。綺麗に接着できている。



図-8

(2) 左後足の関節の治療

- 図-3 は、左後足関節が完全に外れていた。関節の止めネジが抜け落ちていて、しばらく探した。なんと爪先あたりの足の裏にあった。この治療は、ネジを奥まで絞め込むだけで完治した。

(3) 右前後の足治療

- 図-3 のように落下するほどネジが緩むのであれば、他の箇所も緩んでいる可能性が高いと思って、右足の毛皮も糸目をばらして、すべてのネジを点検した。
- 下図-9 は、右後足ひざ関節だったと記憶している。ネジが緩んでここまで出ていた。




図-9

- 肩とか腰の付け根のネジは緩みなし。
- 各足首の関節は、ネジではなくて右図-10 のようなプラで止めている。



図-10

- (4) 左耳が少し下がっている感じだった。 右は動くのに左は動いていない。直る物なら直してあげたい。頭の中を診察するため更に毛皮を剥がした。

- 図-11 の  の白いもの、図-12 の丸い穴の開いたものは、耳と一体になっている同一部品。

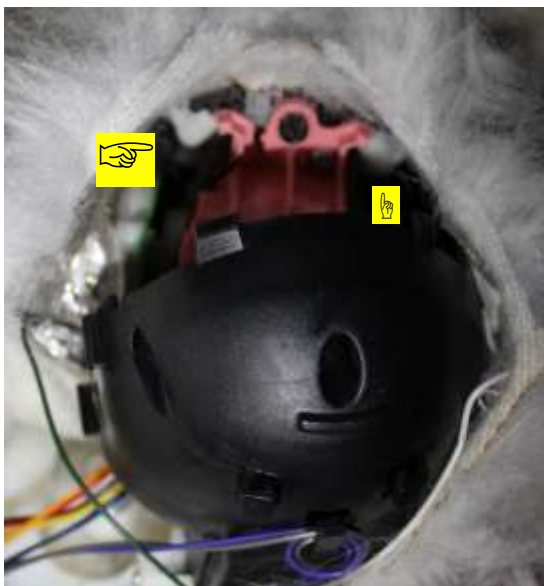


図-11 頭部の耳を動かす部品

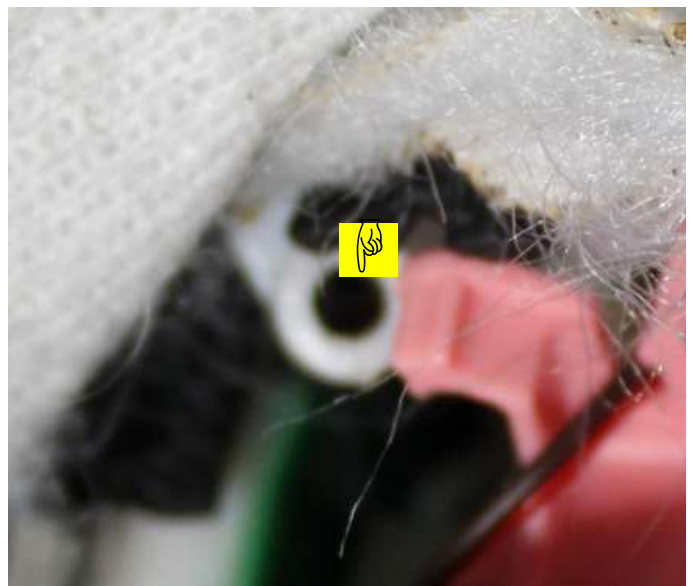




図-12 左図の拡大で耳と繋がっている部品の穴

- 図-11の  の方は、正常に穴にピン(軸)が刺さっていて、耳も正常に動いている。
- 図-11左の  の方は、ピン(軸)が抜けていて見当たらない。宙ぶらりんである。だから、少し下がって傾いたようになっていたのである。
- 右側の正常な耳の方のピン(軸)は、上と下を支えるものがあるのに対して、左の方には下側にそのようなものがない。
- 応急的処置で、図-13のようにボルトの先を穴に入る部分だけ鑿やすりで滑らかにして、上から同じ角度で穴に通し安定させて試みたが、ほんの少しは動いたが、正常には動かない。

長期間宙ぶらりんであったため、部品の一部に変な(型)がついて、一体の別の部分が、当たるべきところ(耳を動かす仕組みの箇所)に当たっていないようである。

- 毛皮を全部剥がさないと、これ以上の治療は難しいので、今回はこれまでとしました。

※ 依頼者さんからは、「骨折等も直すのが難しいようでしたら座るようにだけでもしてほしいと思ってお頼みしました」とのことでした。
「娘がとても気に入っておる猫ちゃんですから・・・」とも



3 治療後の姿



3 ドクターからのアドバイス

- ☺ 左耳は、ピンと立つようにはなりましたが、動きはわずかしかできません。
- ☺ ニャーと泣きます。左右上下に顔・頭を動かします。
- ☺ 疲れたら、いびきをかいて眠ります。
- ☺ 骨折箇所は丈夫に直りました。
- ☺ 関節等のネジは、全部点検してしっかり締めてあります。
- ☺ 上の中の写真は、ブラッシングしてから撮影しました。
- ☺ 電池の容量は、まだ1本1.5ボルト、3本で4.5Vあります。
- ☺ 動かなくなりましたら電池を交換されると良いでしょう。
- ☺ 優しく丁寧やさしく ていねいに扱あつかって遊あそんでやってくださいね。

お渡し予定日：平成29年04月09日

担当ドクター：谷 春 雄